

白鷹町まちづくり複合施設

(白鷹町役場・図書館)

SHIRATAKA TOWN COMPLEX FACILITY

設計監理：* 環境デザイン・** 山田憲明構造設計事務所・*** イーエスアソシエイツ一級建築士事務所・**** 大瀧設備事務所
担当：仙田満*、佐藤哲士*、宇佐美洋平*、根柘拓也*、杉浦健太*、
山田憲明**、杉本将基**、佐藤英治***、徳永彩香***、大瀧牧世****



外観

山形県白鷹町の庁舎。木造2階建て、約4,500㎡の、町役場、図書館、公民館が複合された施設である。2015年のプロポーザルにおいて、既存のRC造・3階建ての庁舎と公民館を残しながら新庁舎整備を進める計画、遊環構造をもつ複合施設を提案した。まちとのつながりを大切に、敷地北側の主要な交差点に面して図書館を配置し、外部からは図書館の様子が伺える。図書館に続くように庁舎を配置し、待合スペースと町民回廊をつなげ、庁舎全体に設けた遊環構造の循環動線により、目的の場所に容易にたどり着ける施設としている。町民ラウンジをメインエントランスに面した役場ゾーンと図書館・公民館ゾーンをつなぐ位置に設け、何気なく庁舎を訪れた人々は、町産材に囲まれた空間の中で、町の活動の展示や学生の学習等、様々な活動を体験できる。役場のまちづくりの姿勢が空間で感じられる庁舎を意図した。

別棟通達（部分により構造を異にする建築物の棟の解釈について）を適用し、耐火コア部分は木造でメンブレン型の耐火構造を採用することで、庁舎全体を木造とするとともに、施設の大半を構造 体現した空間としている。

製材使用量は全体で1,712㎡にのぼり、そのうち75%（1,227㎡）を町産杉材が占めている。国内の木造庁舎としては最大級の木材使用量を誇る庁舎である（弊社設計の熊本県南小国町役場は床面積2,378㎡、木材使用量503㎡）。同敷地のエネルギー棟にはバイオマスボイラーを設置し、町産材の木材チップを燃料として暖房熱源を確保し、建物だけでなく燃料としても町産材の活用が図られている。庁舎整備事業が伐採から建築、消費、リサイクルまで、町産材による緑の循環システムの構築の契機ともなっている。

建築概要

建物名称	白鷹町まちづくり複合施設
発注者	白鷹町
用途	庁舎、図書館、書庫、自動車車庫、防災倉庫
所在地	山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833
設計監理	建築：環境デザイン研究所 構造：山田憲明構造設計事務所 設備：イーエスアソシエイツ一級建築士事務所、大瀧設備事務所 外構：山栄測量設計
施工	【まちづくり複合施設、エネルギー棟、書庫棟、車庫棟】那須・鈴木JV 【防災倉庫棟】丸ト建設 【電気】東北電化工業 【機械】飯鉢工業
設計期間	2015年9月～2017年3月
施工期間	2017年7月～2020年1月
構造	【まちづくり複合施設】木造、地上2階 【エネルギー棟】木造、地上1階 【書庫棟】木造、地上1階 【車庫棟】木造一部S造、地上1階 【防災倉庫棟】S造、地上1階
規模	敷地面積：16,349.16㎡ / 建築面積：3,819.03㎡ 延床面積：4,558.52㎡（まちづくり複合庁舎） エネルギー棟：74.52㎡ / 書庫棟：183.41㎡ 車庫棟：241.25㎡ / 防災倉庫：256.18㎡



待合スペースの吹き抜け



執務スペース



2階第大会議室



中会議室（議場）



図書館



全景写真